

# Bridge

KINJO GAKUIN UNIVERSITY  
Parents' Association Report

vol.5

金城学院大学 父母会会報 [ブリッジ5号] 2009.7

巻頭特集インタビュー

## 「森の中の大学」構想。

現代文化学部 情報文化学科

小野知洋 教授

# 「森の中の大学」構想。

現代文化学部 情報文化学科 小野知洋教授



さまざまな周年事業が進められる中、  
その一環として、  
恵まれた自然を活かした  
キャンパス整備計画を推進。

2009年、学院創立120周年、大学設立60周年を迎えた金城学院大学は、未来への道しるべとして、また、学生や社会への誓いとして教育マニフェストを策定。「女性の人生を豊かにする大学教育の推進」「自ら学ぶ教育・学習システムの構築」「キリスト教教育に基づく「強く、優しい」女性の育成」など、歴史や伝統を礎に本学独自のビジョンを打ち立てており、その中のひとつとして、貴重な自然に包まれたキャンパスの整備計画も立案。日本が世界に誇る自然との共生スタイル「里山」をキーワードに、キャンパスがさらに快適に、潤いあふれる空間へと生まれ変わろうとしています。そこで、「森の中の大学」計画の概要や現状を小野知洋教授に伺いました。

Profile

●学位：農学博士 ●専門分野：応用昆虫学、動物行動生態学 ●研究課題：アオマツムシの繁殖戦略と精子競争、チャハマキにおける性フェロモン抵抗性発達の機構、オカダンゴムシの歩行行動、擬死行動の適応的意義 ●所属学会：日本応用動物昆虫学会、日本昆虫学会、日本動物行動学会

## キャンパスに里山を再生する「森の中の大学」計画

まずはじめに、キャンパスの豊かな自然環境についてお話を聞かせてください。

小野知洋教授（以下敬称略／小野） 大学がキャンパスを構えた昭和20年代、この地は戦争で焼けたり、避難してきた人々が生活のために木を切つてしまつたりして、何もかも荒涼とした場所でした。それから約60年、今ではこんなに自然が豊かに育ちましたが、この間、大々的に植樹などを行ってきたわけではありません。自然にマツが生えて木陰ができ、コナラやアヘマキなどの広葉樹が育ち、立派な森が形成されてきたのです。コナラやアヘマキは薪や炭にしたり椎茸栽培に使うには有効な木です。いい時期に伐採すると切り株からまた新芽が生え、再生されます。60年かけて育まれてきた現在のキャンパスの自然環境は、まさに里山と同じといえます。

## キャンパス内には、希少な動植物が生息する

東海地方特有の湿地帯もあるそうですね。  
小野 キャンパス東部の八竜湿地帯のことですね。各種の湿地性植物が自生し、絶滅危惧種を含む動植物がいる帯です。

もともと名古屋市の市有地であり、1980年代に八竜湿地帯の開発計画が持ち上がり、その際、当時いらした植物分野を専門とする先生が環境調査をしたところ、珍しい昆虫や動物、植物が生息していることが明らかになり、その先生（故本田稔先生）が大学へ働きかけ、そして大学が市と交渉して校地の一部と換地しました。以来、本学が貴重な自然を保護し続けています。



「森の中の大学」計画は、どのような経緯で生まれたのですか。

小野 緑に恵まれた環境と喜んでいられるのは今のうちだけで、これをそのまま放つておくと、自然の成り行きとしてやがて樹種はシイやカシの木などの常緑樹に移り変わり、うっそうとした鎮守の森のようになっていきます。また、今の日本の里山はモウソウチクが繁茂して問題になっていますが、本学キャンパスでもその兆しが現れてきました。鎮守の森も竹林も、女子大にはふさわしくありません。そこで多少手を入れ、よりいっそう快適な環境を整備しようということになり、私とこの場に同席くださった河村先生、職員の木村さん、他に情報メディア分野ご専門の岩崎先生と都市計画を専門とする柳谷先生、都市社会学の西山先生というメンバーで里山復活プロジェクトを発足しました。

河村先生は趣味で炭焼きをやられるなど、里山についてとても詳しい方です。木村さんも自然や環境保護に明るく、多彩なノウハウを結集して取り組んでいます。

具体的にはどのようなプランを描いていらっしゃるのでしょうか。

小野 林の成長具合を見て、手つかずで若々しい木が多いAゾーン（キャンパス整備計画MAP参照）の整備から始めようと考えています。とりあえず歩道を造り、木を適度に伐採して陽光を取り込みます。そしてツツジなど里山特有の樹種を植えていきます。

それから、比較的に利用しやすいBゾーンを、炭焼きや椎茸栽培などに利用する計画です。八竜湿地にも遊歩道を設けて、安全かつ簡単にアプローチできるようにしたいとも考えています。学生たちに話を聞くと、自分の学部、学科に関係ないエリアには行ったことがない、という声が多く、希少な八竜湿地帯の存在を知らない学生もいました。豊かな自然に囲まれていても、それを日常的に感じていないのは残念なこと。しかし、それは学生に関心がないからではなく、自然と触れあえる環境が整っていないからからです。学内に自然散策路があるのは珍しいこと、恵まれたこと。これらの計画を実現し、キャンパスの自然を体感できるようにしなくてはならないです。天気の良い日は外に出て、木陰の下で授業を行ったりランチを食べたり、そういう姿が見られるようになると思います。

この他にも、里山とは直接関係ありませんが、すでに校舎が建っているIゾーンの中庭整備にも取り組んでいます。キリスト教主義の大学ですから、聖書に出てくる草花の花壇を造り、学生たちの憩いの場にしていこうと思います。



## 教育や地域社会との交流も視野に入れる

今回の「森の中の大学」計画は、単なる環境整備では終わらないそうですね。

小野 もちろんその通りです。学生たちに、自然を学ぶ場を与えることも大きな目的です。環境問題を自分のこととして捉え、対処していけるような人材育成や、日々自然と触れあえる環境での豊かな人間形成など、「人づくりに」活かしていきたいです。環境教育という点については、里山整備だけでなくソーラーパネルを設置して太陽光発電を実施する計画です。

また、近隣の方々や幼稚園、小中学校の子どもたちに自然観察の場として利用していただくなど、地域社会とのコミュニケーションづくりにも役立てていきたいですね。キャンパスの自然を地域共有の財産として、有効に活用していく考えです。

快適性の維持・向上、自然環境の教育への有効活用、地域社会との連携強化……この3点が「森の中の大学」計画がめざしていることなのです。

## 森の中の大学整備計画 (2009年度分)

今回の特集で紹介しました里山再生をはじめ、今年度以下のような整備を計画しています。

**A** ゾーンの整備 - 里山再生のための樹木の伐採、通路の設置等を行います。

**D** ゾーンの整備 - グラウンドを設置します。

**G H** ゾーンの整備 - E6号館食堂からキリスト教センター間の階段を整備します。歩行者の安全を確保するため、E6号館食堂から第1駐車場の道路境界に新たに歩道を設置します。

**I** ゾーンの整備 - 校舎間の通路の整備と中庭等へ草花の植栽をします。

**J** ゾーンの整備 - 校舎間各通路の補修を中心とした整備をするとともに、桜等の植栽を行います。

◎心理臨床相談室西側の入り口を「東門」として整備し、本学への東側からのアプローチ利用を促進させます。

◎学生サービスを向上させるため、本部棟1階から3階へエスカレーターを設置します。9月16日から安全を確保するため南こう察方面からの通路を閉鎖します。

設備面では、以下のとおり計画しています。

◎老朽化した机、椅子(1人用のものを中心として)、暗幕を取り替えます。

◎CO<sub>2</sub>削減及び環境教育のために、E6号館食堂屋根に太陽光発電装置を設置します。



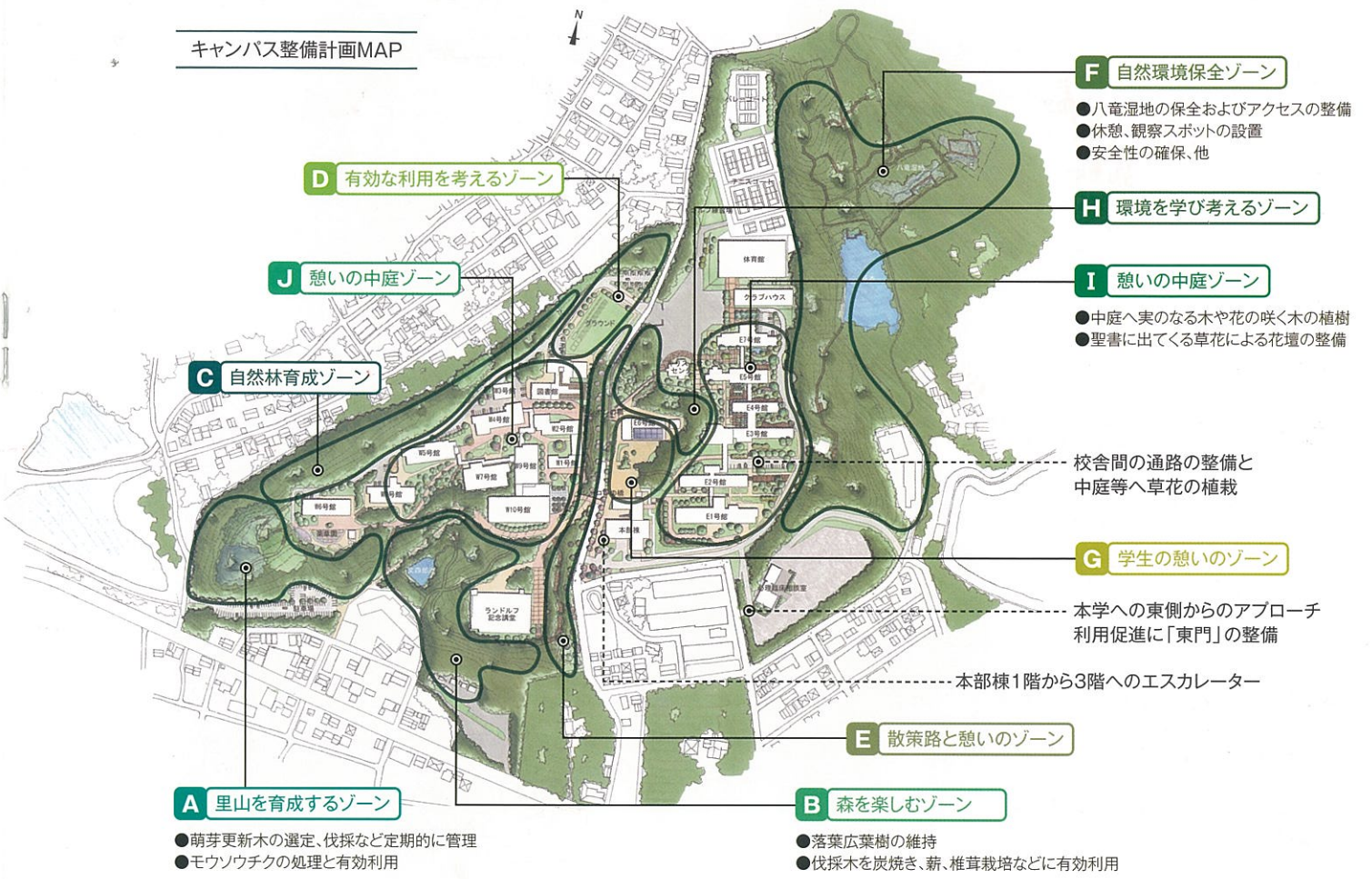
校舎間の通路の整備と中庭等へ草花の植栽



本学への東側からのアプローチ利用促進に「東門」の整備



本部棟1階から3階へのエスカレーター



## 大学の研究から、学生のクラブ・サークルまで。父母会はさまざまな活動をサポートしています。

### 研究トピックス 海外研修助成費をいただいて

### ネットいじめについて 世界中の研究者と直接意見を交換

現代文化学部 情報文化学科  
長谷川 元洋 准教授  
専門分野: 教育工学



私は、2008年度父母会海外国内研修助成費(後期)によって、スペイン・バルセロナにて開催された“Conclusions of the V International Conference on Communication and Reality”に参加することができました。参加した目的は、Cyber Bullying(ネットいじめ)に関するセッションで発表するためでしたが、最大の成果は他国の研究者と情報交換し続けることを確認できたことです。情報技術が発達し、メール等で連絡を取ることは可能ですが、やはり直接会う機会がないと関係を継続することは難しいと思っています。

さて、私は、“An Inquiry into the Legal Authority of Schools in Cyberbullying Conflicts: Cases of Possible Online Intervention by Outsiders in Conflicts Among Students.”のタイトルで発表を行いました。ネット上でいじめられた者が匿名掲示板を利用して仕返しをしたと考えられる事例を取り上げ、学校や家庭、社会が対応すべきことを、



教育的側面と法的側面から検討しました。また、他の発表からヨーロッパにおけるCyberbullyingに関する研究の状況を知ることもできました。さらに、Cyberbullyingに関するセミナーもあり、この問題を概観することができました。

以上のように、爽りの多い出張でした。もしも、助成をいただけなかったら、このカンファレンスには参加できなかったため、父母会から助成をいただいたことに、大変、感謝しております。今回のカンファレンスへの参加で得られたことを今後の研究・教育活動に役立てていきたいと思ひます。深く、御礼申し上げます。

最後に、父母の皆様へのメッセージをお願いします。

小野 キャンパスの自然を護り、そして一緒に生きていくための「森の中の大学」計画が、今、始まりました。自然の何を残していくのかどこに手を加えていくべきか、慎重に議論を重ねながら、女子大にふさわしい潤いと快適性にあふれたキャンパスへと整備していきます。父母の皆様にも里山再生へのアイデアを出していただいたり、本学キャンパスの豊かな自然を体感していただきたいと思います。

学生もプロジェクトに参加しているのですか。

小野 昨年の暮れから今年のはじめにかけて、プロジェクトを発足した先生方が授業で参加者を募りました。そうしたところ、意外にも関心を持つ学生が多く、今のところ25名ほどの学生がメンバーとして活動しています。

Iゾーンの中庭の整備、情報発信のためのWeb制作、炭焼き、椎茸栽培など、グループ分けして各々が調査や計画づくりを進めています。興味があればどのグループに加わってもよく、かけ持ちしている学生も少なくありません。プロジェクト全体の定期的な活動は、毎週1回、昼食の時間集まって行う30分ほどのミーティングです。各グループの進捗状況を報告したりします。このプロジェクトの名称もみんなで決めました。「金城学院里山(リサン)セッション(保全)」、略してKSCです。

まだ始まったばかりのため学生たちは何をどうすればよいか分からず、先生や職員の方がリードしています。しかし、いずれは学生主導の活動にしたいと、メンバーも学部学科学年の隔たりなく、もつと増やしていきたいと思ひます。

## 金城学院里山コンサベーション 参加学生のコメント

山本 沙織さん [国際社会学科3年]  
環境に関心があり、椎茸栽培や炭焼きなど貴重な体験ができると聞いて参加しました。

保母 真弥さん [大学院 消費者科学専攻]  
1ゾーンの景観にはずっと満足していませんでした。自分の考えで美しく変えていきたいですね。

浅野 杏奈さん [情報文化学科2年]  
Web制作を担当しています。授業で学んだことを実践するよいチャンスだと思っています。



河村 典久教授(前列右端)  
●薬学部 薬学科 ●専門分野: 公衆衛生学、環境科学、食品衛生学  
岩崎 公弥子准教授(後列左より2人目)  
●現代文化学部 情報文化学科 ●専門分野: 教育工学、情報メディア  
木村 光伸(後列左より3人目) ●教育研究支援部 職員

吉田 杏奈さん [情報文化学科3年]  
キャンパスの動植物の自然図鑑を作って、Webで発信していこうと思ひます。

森月 綾美さん [情報文化学科3年]  
八竜湿地という珍しい自然のことを初めて知り、キャンパスの見方が変わりました。

武者 真智子さん [情報文化学科2年]  
自然について考えるよい機会だと思ひて参加しました。

松山 愛子さん [情報文化学科3年]  
小野先生の授業が好きで、キャンパスの昆虫などの生物を調べてみたいですね。

## 2008年度卒業記念事業費でジェットタオルを増設

2007年度卒業記念品として学生用トイレにジェットタオルを寄付しましたが、予算の関係で全てのトイレに設置することができませんでしたので、2008年度には残りの13箇所へ寄付しました。環境に優しく衛生的なジェットタオルは学生の皆さんにも好評です。



## 予算及び決算につきまして、主な点を説明します。

〔2008年度決算について〕 単年度の措置として「学生施設建設助成費」を設け、クラブハウス新築、食堂の増設にともなう机、椅子等の寄付を予定通り行いました。「学生教育助成費」の中に学習成果公表助成を設けましたところ、10件採択されました。

〔2009年度予算について〕 今年度は学院創立120周年・大学設立60周年にあたります。そこで、単年度の措置として「周年事業助成費」を設け、太陽光発電装置及びE6号館から第1駐車場間の道路境界に新たに設置される歩道の費用を寄付することが承認されました。従来、「学生教育助成費」の中でキャリア支援を行っていましたが、文部科学省からの助成がなくなったため父母会からの助成額が増加することもあり、新たに「学生キャリア教育助成費」を設け、支出することが承認されました。

## 今年度も夏休みに 地区別懇談会を開催します。

昨年度と同じ4会場で開催する予定です。大学の現状や当該地域における就職状況の説明の後、就職、教務、学生生活に関するご相談などを個別に受け付けます。下記の地区の方々にはあらためてご連絡いたしますので、ぜひご出席ください。なお、開催日程は以下の通りです。

- ◎岐阜(岐阜グランドホテル) 8月29日(土) 13:30~16:00
- ◎金沢(金沢都ホテル) 9月 1日(火) 13:30~16:00
- ◎四日市(四日市都ホテル) 9月 5日(土) 13:30~16:00
- ◎浜松(グランドホテル浜松) 9月12日(土) 13:30~16:00

# 総会報告・収支報告

去る2009年6月3日(水)大学にて父母会総会が開催され、2008年度の事業報告・決算、2009年度の事業計画・予算などが承認されました。

## 2008年度事業報告

2008年4月1日(火) 【内容】◎キリスト教教育について  
◎学生生活について  
◎教務上の諸事項について  
◎キャリアアップ講座について  
◎大学父母会の活動の協力について  
父母対象大学説明会  
役員会  
入学式後を利用して、入学生の父母対象に説明を行いました。 【役員会】◎今年度活動計画の概要の説明

2008年5月26日(月) 【役員会】総会審議事項の確認  
◎2007年度事業報告  
◎2007年度会計報告  
◎2008年度役員・委員候補者選出  
◎2008年度事業計画  
◎2008年度予算  
◎教育懇談  
役員会  
【歓迎会】新旧役員及び大学役職者の歓迎会

2008年6月4日(水) 【総会】◎2007年度事業報告  
◎2007年度会計報告  
◎2008年度役員・委員候補者選出  
◎2008年度事業計画  
◎2008年度予算  
総会  
【教育懇談会】「大学の現状報告資料」に基づき学長から概要の説明  
【懇談会】アドバイザー(クラス担任)との懇談

2008年7月17日(木) 【講演】演題:「乱歩と名古屋」  
講師:文学部 准教授 小松史生子氏  
委員との懇談会  
【懇談会】父母会役員・大学役職者とクラス委員との懇談会

2008年8月30日(土) 【概要】◎大学の教育方針・近況等説明  
◎学生生活上の説明  
◎個別懇談(成績関係、就職関係、その他)  
9月 2日(火) 6日(土) 13日(土)  
地区別懇談会  
【出席者】岐阜……父母・学生107名、大学側20名  
金沢……父母・学生 21名、大学側 6名  
四日市……父母・学生 81名、大学側15名  
浜松……父母・学生 59名、大学側15名

2008年12月4日(木) 【議題等】◎大学の近況報告  
◎父母会活動について  
◎教育懇談  
定期懇談会

2009年2月19日(木) 【議題等】◎今年度父母会活動の総括  
◎卒業記念品について  
◎総会の持ち方について  
◎金城学院創立120周年  
大学設立60周年に伴う対応について  
◎教育懇談  
役員会

2009年3月18日(水) 【議題等】◎次年度日程について  
役員会

## 2009年度事業計画

2009年4月1日(水) 【内容】◎キリスト教教育について  
◎学生生活について  
◎教務上の諸事項について  
◎キャリアアップ講座について  
◎大学父母会の活動の協力について  
父母対象大学説明会  
役員会  
入学式後を利用して、入学生の父母対象に説明を行いました。

2009年5月25日(月) 【役員会】総会審議事項の確認  
◎2008年度事業報告  
◎2008年度会計報告  
◎2009年度役員・委員候補者選出  
◎2009年度事業計画  
◎2009年度予算  
◎教育懇談  
役員会  
【歓迎会】新旧役員及び大学役職者の歓迎会

2009年6月3日(水) 【総会】◎2008年度事業報告  
◎2008年度会計報告  
◎2009年度役員・委員候補者選出  
◎2009年度事業計画  
◎2009年度予算  
総会  
【全体説明会】◎大学の現状報告  
◎学生生活について  
◎就職状況について  
【学科別懇談会】学科ごとに教員との懇談

2009年7月16日(木) 【内容】講演会及び  
父母会役員・大学役職者と  
父母会委員との懇談会  
委員との懇談会

2009年8月29日(土) 【概要】◎大学の教育方針・近況等説明  
◎学生生活上の説明  
◎個別懇談(成績関係、就職関係、その他)  
9月 1日(火) 5日(土) 12日(土)  
地区別懇談会  
場所:岐阜、金沢、四日市、浜松

2009年12月3日(木) 【議題等】◎大学の近況報告  
◎今後の父母会活動について  
◎教育懇談  
定期懇談会

2010年2月18日(木) 【議題等】◎今年度父母会活動の総括  
◎卒業記念品について  
◎教育懇談  
役員会

2010年3月18日(木) 【議題等】◎次年度役員、日程について  
役員会

◎収入の部	2008年度収支決算			2009年度収支予算		
	決算額	予算額	増減	2009年予算額	2008年予算額	増減
前年度繰越金	28,557,680	28,557,680	0	32,662,138	28,557,680	4,104,458
入会金	8,169,000	8,169,000	0	9,387,000	8,169,000	1,218,000
会費	51,853,500	52,430,000	△576,500	61,704,000	52,430,000	9,274,000
雑収入	95,854	50,000	45,854	100,000	50,000	50,000
学生施設建設助成積立金取崩収入	9,004,162	9,004,162	0	—	9,004,162	△9,004,162
周年事業積立金取崩収入	—	—	—	10,526,309	—	10,526,309
合計	97,680,196	98,210,842	△530,646	114,379,447	98,210,842	16,168,605
◎支出の部	決算額	予算額	増減	2009年予算額	2008年予算額	増減
学生教育助成費	4,774,850	5,700,000	△925,150	3,900,000	5,700,000	7,430,000
学生キャリア教育助成費	—	—	—	9,230,000	—	9,230,000
学生生活助成費	8,349,640	9,852,800	△1,503,160	9,800,000	9,852,800	△52,800
学生指導助成費	1,873,503	3,120,000	△1,246,497	3,120,000	3,120,000	0
教育研究助成費	10,385,165	10,554,000	△168,835	10,609,000	10,554,000	55,000
教員研修助成費	2,480,105	3,700,000	△1,219,895	3,970,000	3,700,000	270,000
事務研修助成費	1,500,000	1,500,000	0	1,500,000	1,500,000	0
地区別懇談会助成費	2,076,327	3,000,000	△923,673	3,000,000	3,000,000	0
卒業記念事業費	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000	0
環境整備助成費	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000	5,000,000	0
父母会活動費	7,307,243	8,900,000	△1,592,757	8,900,000	8,900,000	0
学生施設建設助成費	15,000,000	15,000,000	0	—	15,000,000	△15,000,000
学生施設建設助成積立金	—	—	—	3,000,000	0	3,000,000
周年事業助成費	—	—	—	27,000,000	—	27,000,000
周年事業積立金	3,000,000	3,000,000	0	0	3,000,000	△3,000,000
雑費	271,225	1,000,000	△728,775	1,000,000	1,000,000	0
予備費	0	24,884,042	△24,884,042	21,350,447	24,884,042	△3,533,595
次年度繰越金	32,662,138	—	32,662,138	—	—	—
合計	97,680,196	98,210,842	△530,646	114,379,447	98,210,842	16,168,605
◎特別会計の部	組入額					
周年事業積立金	10,526,309					
学生施設建設助成積立金	0					

## ごあいさつ

金城学院大学父母会 会長

### 浅井 清司

日頃は父母会の活動に深いご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

会員の皆様と父母会を結ぶ架け橋として会報「Bridge」第5号をお届けします。

6月3日に開催されました総会にはお忙しい中多数の皆様にご出席いただきまして誠にありがとうございました。別頁にございますように、皆様のご協力によりましてすべての議案が原案どおり承認されました。また今年度より開催されました総会後の懇談会も大いに盛り上がり、「学生だけでなく父母にも親切でやさしい金城学院大学ですね」とのおほめの言葉もいただきました。ご協力いただきました教職員の皆様にあたためまして厚く御礼申し上げます。

本年は金城学院創立120周年・大学設立60周年の記念すべき年にあたります。大学では、緑あふれる「森の中の大学」のコンセプトのもと、人と環境にやさしい女子大らしい美しく魅力的なキャンパスづくりをご計画いただいております。父母会といたしましても、こうした構想に協力し、「太陽光発電装置」と「道路沿いの歩道」の設置という二つの事業の寄贈を総会において決定いたしました。

昨年度より父母会も参加させていただきました「キャンパス川柳大会」も、今年からは中・高生も加わり、まさにオール金城のビッグイベントとなりました。この催しが「金城ファミリー」の絆をより一層深める行事に育つことを願ってやみません。会員皆様のご支援、ご応募をお願い申し上げます。

「マナー教育」も学長の柏木先生を先頭に全学一丸となって引き続き熱心にご指導いただいております。私どももこうした方針に全面的に協力してまいりたいと思いますので、会員皆様の尚一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが会員皆様のご健勝を心からお祈りいたしまして、ごあいさつといたします。

金城学院大学 学長

### 柏木 哲夫

日頃は大学の教育にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

皆様のお支えにより、学生への教育と教員の研究活動が円滑に推進できることを大変感謝しております。

本学では、「強く、優しく。」をスローガンに掲げています。「強く」は、実社会において主体性を持つものごとを推し進める強さ、意志を通す強さ、目標を達成するための知識と技術を、「優しく」は、他人をいたわり思いやる優しさ、コミュニケーション能力、他者を認める寛容さや謙虚さを意味します。キリスト教を基盤として、このような強く、優しい女性の育成を目指し、このスローガンを共通理解として教育の実践に活かしていきたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

今年は金城学院創立120周年・大学設立60周年という記念すべき年です。本学院は創立以来キリスト教主義を基盤とした女子教育を実践してきましたが、120周年、60周年をひとつの節目として、更なる飛躍を目指したいと願っています。

今年度も予算をはじめ、いろいろご配慮を賜り大変感謝しております。昨年度のクラブハウス新設、食堂増設に伴う机、椅子等の備品の寄付に続き、今年度は周年事業の一環である太陽光発電装置の設置、歩道設置工事のために多額の寄付をいただき感謝いたします。目まぐるしく変わる時代の中、大学として最良の教育ができるよう、まい進していく所存でございますので、今後ともご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

#### 学内トピックス

**昨年度、新築のクラブハウスと増築された食堂(リリーイースト)に机、椅子などの備品を寄付。  
今年度は「太陽光発電装置」と「道路沿いの歩道」を設置いたします。**

昨年度、学生施設建設助成積立金を利用して、体育館南側に新築されたクラブハウス及びE6号館食堂(リリーイースト)の増築部分に配置する机、椅子などの備品を寄付することを承認していただきました。予定通り完成し、食堂には、222席分の机、椅子を、クラブハウスには、ラウンジの机、椅子をはじめ各部室、練習室の備品を寄付いたしました。今年度は、金城学院創立120周年・大学設立60周年にあたります。そこで、周年事業積立金等を利用して、大学で計画が進められている太陽光発電装置(E6号館食堂屋上設置予定)と歩行者の安全を確保するため、E6号館から第1駐車場間の道路境界に新たに設置される歩道の費用を寄付することが承認されました。



クラブハウ斯拉ウンジ